



我孫子市LINE公式アカウント友だち募集中！
二次元コードを読み取るか、LINEの「友だち追加」でID「@abiko_city」を検索して追加してください。市からのお知らせなど、欲しい情報を選べます。メール配信サービスと同じ情報も配信します。



アプリ「マチイロ」
マチイロ(二次元コードからダウンロード可)で広報あひこが閲覧できます。

我孫子から平和を願う 平和の集い

12月1日(日)13時30分～16時(受付13時～)

けやきプラザ

定 先着500人(申込不要) 費 無料

問 企画政策課 ☎04-7185-1426



▲令和6年度広島派遣団

市では、被爆者の体験や平和の尊さを次世代に伝えるため、平成17年度から被爆地への中学生派遣を行っています。今年度は広島市に16人を派遣し、広島平和記念式典に参列したほか、被爆体験講話の聴講や平和記念資料館の見学などを行いました。派遣中学生にとって、広島でしか感じること・学ぶことのできない経験ができたと思います。

また、我孫子市平和事業推進市民会議委員から、元派遣中学生で現在大学生の3人が同行しました。中学生をフォローしつつ、当時とは違った視点で平和について考えていたと感じます。

今後も、戦争の記憶を風化させることなく未来につなぐため、1人でも多くの中学生を派遣し、被爆者の平和への思いを受け継ぎ、次世代に伝えてくれる子どもが増えることを願っています。

ぜひ「平和の集い」に足を運んでいただき、子どもたちの平和への思いをお聴きください。

市長 星野 順一郎

第1部 広島派遣中学生による報告



▲令和5年の様子

8月5日～7日に、市内中学校の代表16人が被爆地の広島市を訪れました。現地での活動報告と感じた思いを発表します。

第2部 我孫子中学校演劇部 「戦争を知らない子どもたち」

あらすじ

太平洋戦争が激しさを増す中、空襲におびえながらも明るく懸命に生きる健太。戦後50年、1995年の学校で退屈し、毎日を何となく生きる由希。生きている時代が違う2人が入れ替わってしまう。

戦争を知らない子どもが戦争の時代を生きたら…。戦時中の子どもが物の豊富な現代を生きたら…。戦争、平和、そして今を生きるとは。



▲令和5年の様子

展示も開催



けやきプラザ

日 11月20日(水)～12月1日(日)9時～19時(最終日16時30分まで)

内 我孫子市平和事業の紹介、ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター

アビシルベ

日 11月20日(水)～12月8日(日)9時～18時

内 「こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」の作品

大学生になった元派遣中学生3人が広島派遣に同行 大人になって感じた平和への思い



▲左から、平成30年度広島派遣中学生の早乙女凛さん、平成29年度広島派遣中学生の高須万悠香さん、平成30年度広島派遣中学生の根本茜梨さん

派遣中学生の様子はいかがでしたか？

早乙女さん 過去に起きた悲惨な事実と向き合い、戦争や原爆について真剣に学ぶ中学生の姿に心を打たれました。今回の経験は派遣中学生を大きく成長させ、心に残るものになったと思います。

高須さん 目を背けたくなるような事実にも真剣に向き合い、さまざまなことを学んでいました。「最初に見た原爆ドームと、被爆した方から話を聞き、平和記念資料館を見学した後に見た原爆ドームでは、全く違うものに見えた」という感想が印象的です。「平和の集い」では、中学生が派遣期間に感じたことを、より多くの人に伝えてほしいです。

根本さん 派遣中学生はもちろん、私自身も学びが深まる3日間を過ごすことができました。実際にその地を訪

れることで、平和に対する考えや、自分たちに何ができるか、自分たちがどれだけ平和に暮らせているかを感じられたと思います。

改めて広島派遣に参加して感じたことを教えてください

早乙女さん 広島を再び訪れたことで、中学生の頃とは異なる視点で平和について考えることができました。この経験を大切に、派遣中学生と一緒に、リレー講座などの平和事業を通して平和のバトンをつないでいきます。

高須さん 私もリレー講座などの活動を続け、これからも平和の尊さを次世代に伝えていきます。

根本さん 当時14歳だった私が、派遣をきっかけに平和への意識が変わり「次世代につなぎたい」と思ったように、今年の派遣中学生にも、何か新しい感情が芽生えてくれているとうれしいです。